

Minami Kyushu University Junior college Syllabus

シラバス年度	2024年度	開講キャンパス	宮崎キャンパス	開設学科	国際教養学科					
科目名称	ホスピタリティ産業演習				授業形態	講義				
科目コード	534064	単位数	2単位	配当学年	1	実務経験教員	○	アクティブ ラーニング	○	
担当教員名	林 欣也								ICT活 用	
授業概要	<p>ホスピタリティ産業とは一言で言えば“おもてなし産業”“相手を感動させる感動産業”のことをいいます。一般的に宿泊業・運輸業・旅行業 等を指します。多様性社会・共生社会を生き抜くために、インターンシップによって「見えない力」を身につけることを目的としています。「見えない力」とは①人を大切にする力②自分の考えを持つ力③自分を表現する力④チャレンジする力のことを言います。具体的には、宮崎県内の一流ホテル(フェニックス シーガイア リゾート・日南プリンスホテル・ANAホリディ インリゾート宮崎 等)におけるインターンシップを通して接客業の基礎知識の修得、実務の理解、並びに実践的な接客、接客を行い「ホスピタリティ・マインド」(おもてなしの心)を学修することを目的とします。体験が経験を生み、体験および経験により、生き抜く智慧を身につけることです。海外・国内の一流ホテルの実務経験を取り入れながら「ホテル業のサービス」について学修していきます。</p>									
関連する科目	ホスピタリティ論、ホテル実務技能論、ホスピタリティ・マネジメント									
授業の進め方 と方法	事前学習として、接客会話として語学(韓国語)と専門用語の学修。インターンシップ先企業の概要、経営理念、組織、業務内容など企業研究並びにホスピタリティ・マナー訓練を行います。事後学習においては、インターンシップにおいて得た成果についてグループ発表会をオーブングラスとして実施します。									
授業計画 【第1回】	オリエンテーション: インターシップに伴う諸手続き、デイリーレポートの趣旨説明、記載方法説明(林欣也)									
授業計画 【第2回】	インターンシップ先の接客専門用語学習Ⅰ: 宿泊部門で使用される専門用語について解説します。(林欣也)									
授業計画 【第3回】	インターンシップ先の接客専門用語学習Ⅱ: 料飲部門・旅館部門で使用される専門用語について解説します。(林欣也)									
授業計画 【第4回】	語学学習(接客会話):接客業で使用される韓国語について学びます。(呉海鍾)									
授業計画 【第5回】	インターンシップ直前学習:ホテル専門用語の復習、お礼状の書き方を学びます。(林欣也)									
授業計画 【第6回】	インターンシップ(ホスピタリティ産業業界)									
授業計画 【第7回】	インターンシップ(ホスピタリティ産業業界)									
授業計画 【第8回】	インターンシップ(ホスピタリティ産業業界)									
授業計画 【第9回】	インターンシップ(ホスピタリティ産業業界)									
授業計画 【第10回】	インターンシップ(ホスピタリティ産業業界)									
授業計画 【第11回】	インターンシップ(ホスピタリティ産業業界)									
授業計画 【第12回】	インターンシップ(ホスピタリティ産業業界)									
授業計画 【第13回】	インターンシップ個人別報告発表。並びにPower Pointによる報告書作成を行います。(林欣也)									
授業計画 【第14回】	インターンシップグループ別Power Pointによる報告書作成を行います。(林欣也)									

授業計画 【第15回】	インターンシップグループ別Power Pointによる報告発表会を行います。(林欣也)
授業の到達目標	①ホスピタリティ産業の仕事を体験し、ホスピタリティについて考察することにより 『ホスピタリティ・マインド』を持って接遇ができるようになる。【態度・志向性】 <input type="checkbox"/> ②オープンクラスで体験報告を行うことによって、プレゼンテーション能力を高める。【態度・志向性】 <input type="checkbox"/> ③接客用語(語学並びに専門用語)を学び、国際社会に対応できる基礎知識を高める。【知識・理解】
学修成果との関連	6. 地域社会への貢献に必要な知識・技能を有する。
授業時間外学習【予習】	翌日に指示される業務について、事前学習をしておくこと。(1時間程度)
授業時間外学習【復習】	デイリーレポートに研修した内容を記載し、その日の振り返りを行う。(1時間程度)
課題に対するフィードバック	小テストの採点結果等の解答解説については返却後の授業にて行います。
評価方法・基準	・事前学習に対する理解度確認小テスト30点、企業先インターンシップ デイリーレポート10点、企業先の評価30点、プレゼンテーション 30点。
テキスト	適宜、インターンシップに関するプリントを配布します。
参考書	必要に応じて図書、資料を紹介する。
備考	・海外インターンシップ(韓国)希望者がいる場合は、別途対応します。第1回オリエンテーションにて説明。 <input type="checkbox"/> ・本学を代表して体験することを肝に銘じてください。受入企業の都合で実施できない場合有り。